

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月5日	記入者		連絡先	2622
平成18年度部名	保健福祉部	課名	高齢者福祉課	課長名	市川正美
平成19年度部名	保険高齢部	課名	高齢者福祉課	課長名	市川正美
事務事業名	ねたきり高齢者等慰問品支給事業				
予算上の事務事業名	慰問品支給事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		11210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市ねたきり高齢者等慰問品支給要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	▼		5 事業開始年度	▼	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	(2) 対象(誰、何)				
在宅でねたきりや認知症の高齢者に福祉向上を図ることを目的として、慰問品を支給する。	9月15日現在、65歳以上で1年以上市内に在住のねたきり・認知症高齢者				
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	7月に前年度支給対象者の現況調査、新規の申請受付 11月に防水シートを個別配布 実績 ねたきり高齢者 226人 認知症高齢者 53人 合計 279人				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	685	436	581	804	804
一般財源	685	436	581	804	804
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	807	805	805	805	805
事業コスト合計	1,492	1,241	1,386	1,609	1,609
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	慰問品支給			対象名称 と単位	支給対象者数
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	1,492	1,241	1,386	1,609	1,609
対象数	336	214	279	382	382
単位あたり経費(円)	4,440	5,799	4,968	4,212	4,212
前年度比		1.31	0.86	0.85	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	支給対象者の対前年度伸率	指標式と指標の説明	支給対象者数 ÷ 前年度支給対象者数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	84.4	63.6	130.3		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	84.4	63.6	130.3		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	在宅の要介護度4・5者に対する支給率	指標式と指標の説明	支給対象者数 ÷ 在宅の要介護度4・5者数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	20.9	12.1	13.1		
目標	20.9	12.1	13.1	13.5	14.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		在宅で生活しているねたきり、認知症高齢者の福祉向上を図るため、今後も必要性の高い事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
対象者に対しアンケートを実施し、希望される方に物資を支給する。			対象者のニーズを把握		
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）					
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		(2) 二次評価コメント	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			